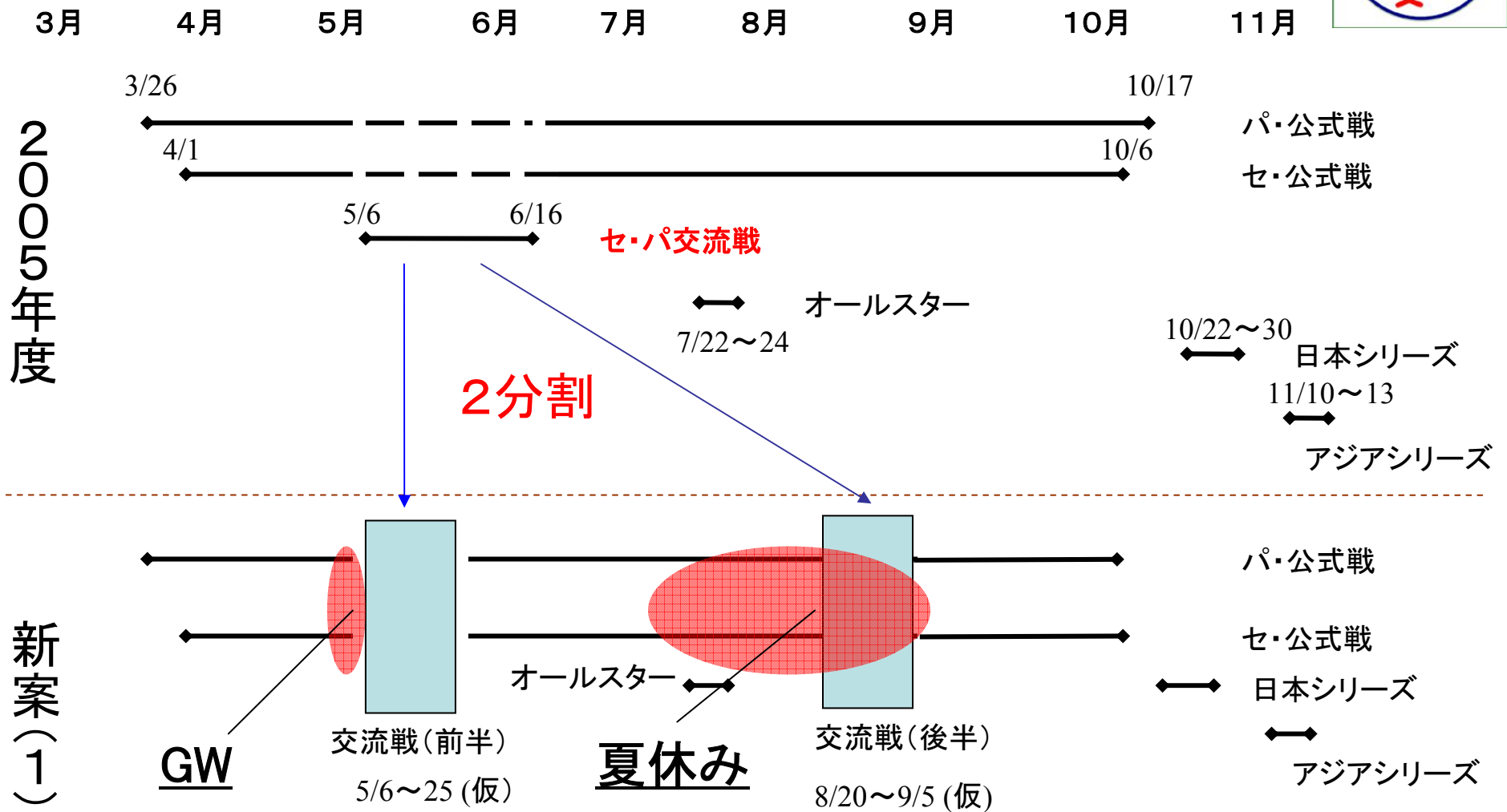


構造改革案 柱1

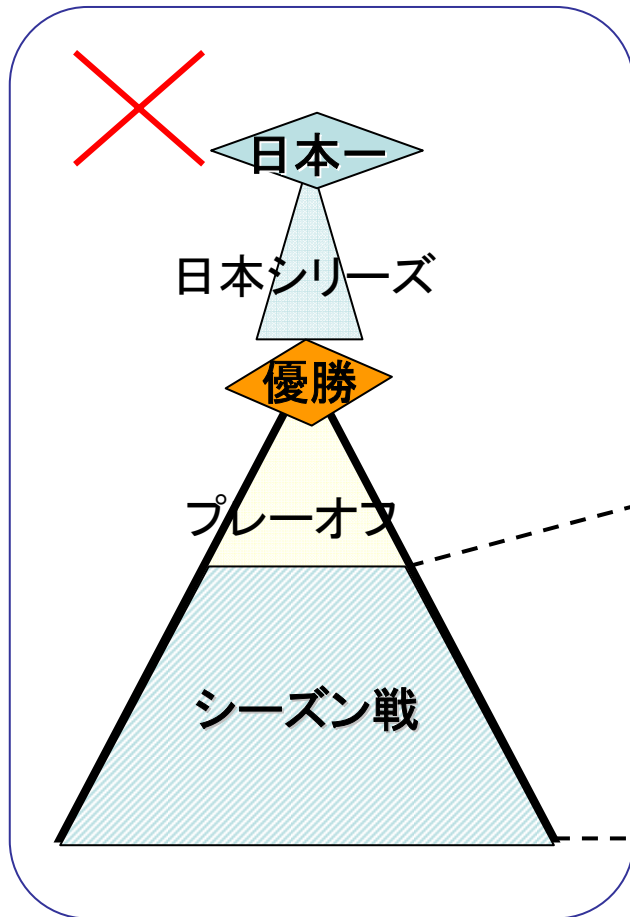
試合価値の向上

交流試合改革



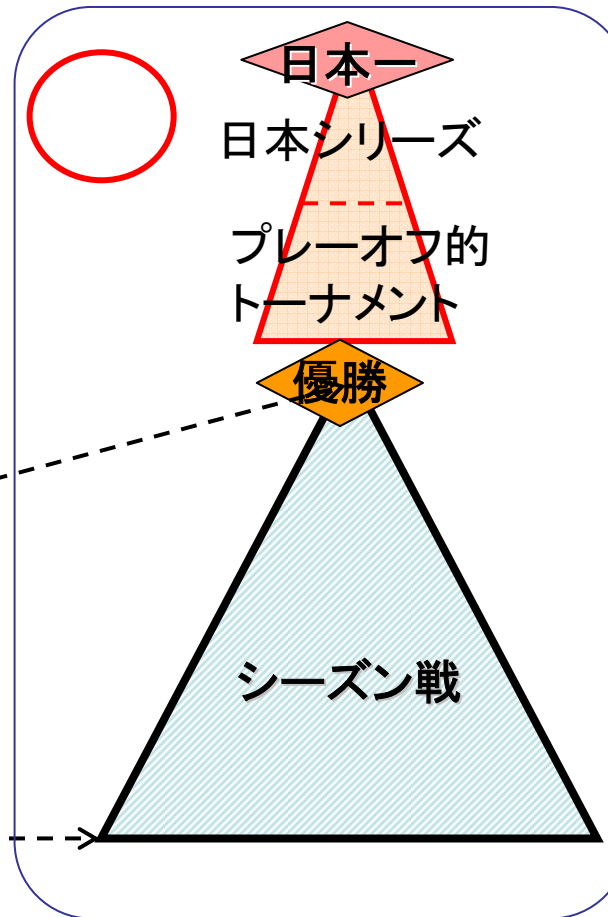
- ☆2分割することで開催にメリハリを設けることができる。
- ☆ポストシーズンゲームとの組み合わせにより、さらに試合を盛り上げる
- ☆6月のサッカーW杯の交流試合への影響を減らすことができる

ポストシーズンゲームの創設 (日本チャンピオンシップ構想)



プレーオフをシーズン優勝を決めるための仕組みと位置付けている

日本シリーズ
=各リーグの優勝チームが進出



「日本チャンピオンシップ」
(仮)の創設

シーズン優勝単独
の価値を高める

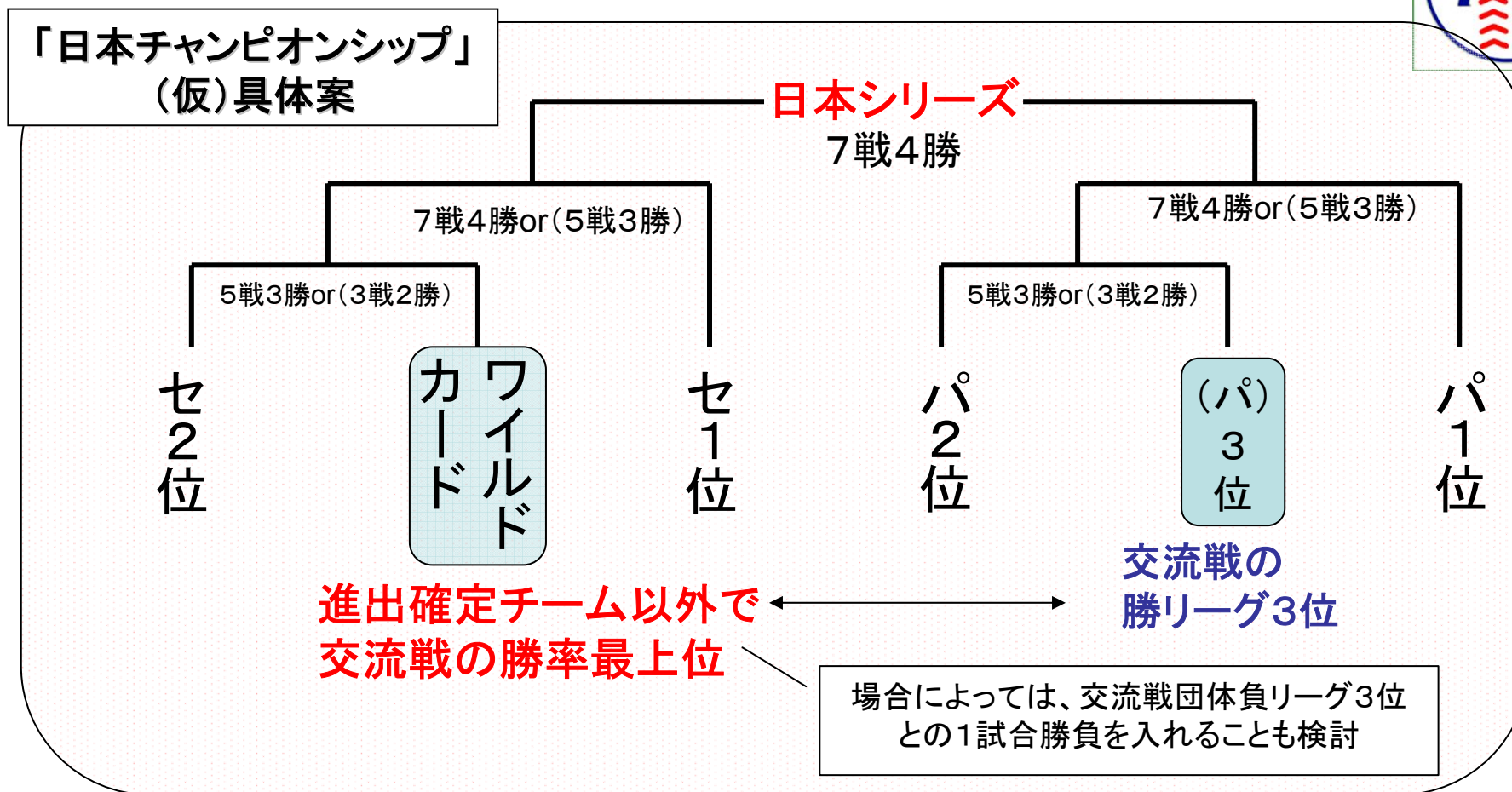
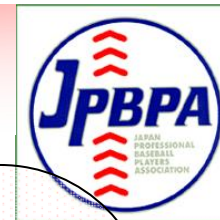
と同時に

日本シリーズをトー
ナメントに拡大する
ことでシーズン試合
のビジネス価値を高
める

プレーオフを日本シリーズの拡大版トーナメントの一部に位置づける

日本シリーズ
=各リーグの優勝チームを含めた数
チームが進出して争うトーナメント

ポストシーズンゲームの具体案＝日本シリーズ拡大改革



✓消化試合を圧倒的に軽減

✓ワイルドカードの採用により、後半戦の交流戦をより白熱させる(交流戦の分割との組み合わせにより、8月後半まで可能性を維持)

✓交流戦の団体成績の影響を加味することでリーグ間対抗の付加価値付け

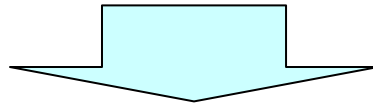
試合球の統一について



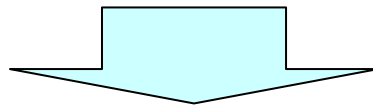
現状



国内の試合で使用される試合球が統一されていない



それぞれ感覚が異なり、プレーに影響を与えてしまっている



国内試合球の統一が必要

国際大会を踏まえ、国際試合使用球に統一すべき

